

各報道機関 様

令和4年9月22日配信

嬉野温泉駅前をメタバース化しました！

嬉野市では、VRやメタバース等の未来技術を用いて地域が抱える課題を解消する「嬉野市未来技術地域実装事業」に令和2年度より取り組んでいます。コロナ禍で落ち込みを見せる地域経済にとって、主産業である観光業の浮揚が第一と捉えており、このためには、①旅行前に嬉野を疑似的に楽しむことで来訪意欲を高めること、②旅行中の楽しみを作ること、③旅行後のリピート意欲を高めることが必要と考え、嬉野の魅力を全国・全世界に発信する環境整備を進めてきました。

西九州新幹線 嬉野温泉駅開業に合わせ、2022年9月23日より下記サービスを開始します。サービスの詳細は別紙をご覧ください。

#1 デジタルモール嬉野

☞ メタバースの嬉野温泉駅周辺「うれしの まるく」内で観光体験や情報収集ができます。

#2 バーチャル嬉野・嬉野散歩

☞ VR技術を用いて嬉野の街並みやお店を疑似的に散策し、観光情報を収集できます。

#3 LINE公式アカウント「嬉野温泉観光案内所」

☞ LINEを通じて嬉野の観光情報や未来技術の取り組みを発信します。

嬉野市役所 新幹線・まちづくり課
担当 前川、江頭
TEL 0954-27-7020

2022年9月23日西九州新幹線の開業に合わせ、以下の嬉野観光の情報発信サービスを開始いたします。

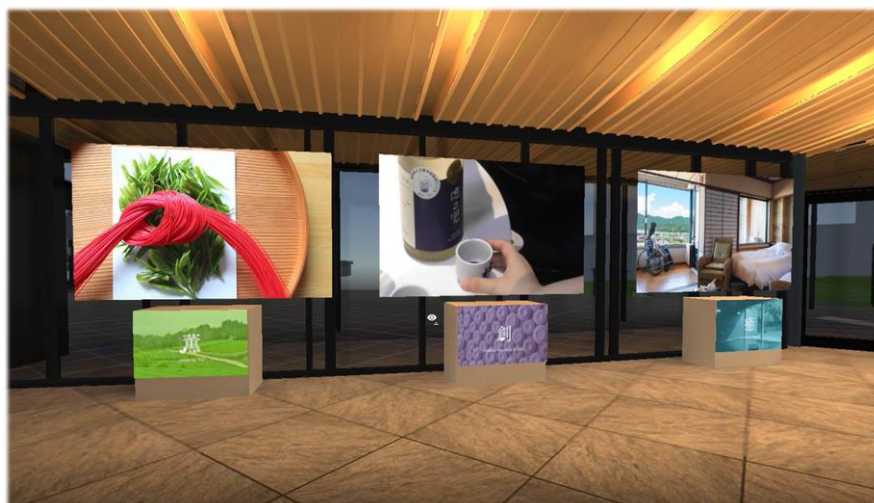
メタバース空間「デジタルモール嬉野」

今回の未来技術の中心となる、嬉野観光のデジタルプラットフォームです。メタバースの技術を用いて仮想の駅前広場「うれしの まるく」を構築しました。利用者は自身の分身となるアバターで、仮想空間内を自由に動き回り、360度カメラ撮影による、臨場感あふれる観光の疑似体験が可能です。

嬉野温泉観光協会 HP(<https://spa-u.net/>)やLINE 公式アカウント(後述)からアクセス可能です。

※当サービスをご利用いただくためには、スマートフォンやパソコンが必要です。

(デジタルモール嬉野内のイメージ図)



VR空間「バーチャル嬉野・嬉野散歩」

360度カメラを用いて市街地を撮影し、嬉野の街並みをVR化しました。

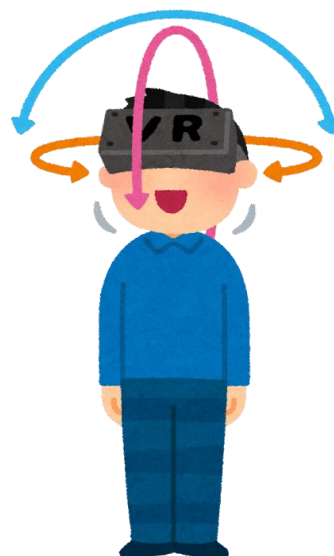
バーチャル空間の嬉野を散策しつつ、宿泊施設や飲食店、窯元の中に入ることができるようになっており、疑似的に嬉野を散策することで、観光情報の収集に役立ちます。

駅前広場「うれしの まるく」の観光交流施設内に、タブレットとVRゴーグルを準備しており、当サービスを体験いただけます。

嬉野温泉観光協会HP(<https://spa-u.net/>)やLINE公式アカウント(後述)からアクセス可能です。

※観光交流施設以外においても、スマートフォンやパソコンがあれば体験可能です。

(バーチャル嬉野・嬉野散歩のイメージ図)



LINE 公式アカウント「嬉野温泉観光案内所」

嬉野観光の LINE 公式アカウントを立ち上げます。嬉野の温泉や食事、宿泊施設について問答形式で調べることができるようになっており、嬉野温泉観光協会の紹介ページにリンクしています。また、観光や未来技術情報を、LINE を通じて発信いたします。

なお、この LINE 公式アカウントへのアクセス結果からデータ分析を行い、嬉野の観光が抱える課題の把握や評価ができ、今後の施策展開へ活かします。

LINE 公式アカウントのサイトは、9 月 23 日に嬉野温泉観光協会 HP(<https://spa-u.net/>)からお知らせします。

「嬉野温泉観光案内所」のイメージ図

